

分譲マンション 防災マニュアル作成の手引



平成31年1月

仙台市

目 次

はじめに	・・・	1
第1章 東日本大震災を経て ～被災マンションの声～	・・・	2
第2章 マンションでの災害に備えるには	・・・	8
第3章 マンション全体での防災体制	・・・	10
第4章 防災マニュアルの作成	・・・	18
第5章 日常の防災活動	・・・	32
第6章 仙台市の防災対策・支援	・・・	36
東日本大震災より～被災体験集～	・・・	38
参考様式集	・・・	44

はじめに

東日本大震災では、昭和 53 年の宮城県沖地震を教訓とした建物の耐震化など、これまで進めてきた対策に一定の効果が見られたものの、多くの人が避難を余儀なくされ、避難所運営や避難された方々への支援、情報提供などの面で多くの課題が生じました。

また、本市全域にわたるライフラインの停止、さらにはガソリン等の燃料供給の途絶などが、被災地での支援・復旧活動、市民生活や企業活動に大きな影響を与え、エネルギー途絶時における大都市の脆弱性も明らかになりました。

このような中、市内のマンションでは、居住者の方々が自主的な防災活動を行い、施設内での避難生活を乗り切った事例なども報告されており、市民の絆と支え合いの大切さが再認識されたところです。

人々が一定の場所に集まり住むマンションにおいては、災害時に居住者同士で協力して対応できるというマンションならではの利点を活かし、共有財産であるマンションを守るといった意識を共有し、日頃からコミュニティ活動を通しての「顔の見える関係づくり」や、居住者間の絆や支え合いを深めておくことが、災害から生命や財産を守る基本であると考えます。

本書は、東日本大震災の教訓をもとに、仙台市内の分譲マンションにお住まいの方々が居住者同士の支え合いの取り組みとして防災活動を円滑に進められるよう、**地震対策用の防災マニュアルの作成を支援する手引書**として作成いたしました。